

# KHJ秋田ばっけの会便り



KHJ秋田ばっけの会 会報No.83 (2022年8月号)

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

大雨で被害を受けたご家族の皆さま、お見舞い申し上げます。

## 第73回「集い」8月20日(土)

コロナ禍も治まらず天気も不安定な中でしたが、7名の参加者がありました。

1週間前の「居場所」参加者が多かったのでまずはその話題から。「支援者が集まったの、不思議な会だった。」「パネルディスカッションのような贅沢な時間だった。」「いつもの居場所とは違って、思ったことが言い出せなかった。」などの感想が出されました。

Shさんからは、朝日新聞の投書(「若い世代・夏」8/19)を紹介しながら、投書からは世代の違いが見える。親には酷かもしれないが我が子がそれぞれの発達段階のどこでどう躓いたのかみてみることも必要な、という提案がありました。自身の経験も話してくれました。

それを受けて、まずはそれぞれ自分自身のことも振り返ってみました。

Stさんは、幼少時の祖父母との思い出はカラーで鮮やかに思い出せる。少しでも支えになった人や物や場所があって生きていられた。と話してくれました。

Smさんは、カウンセラーの助けを得て自身の〈苦しい〉が何かがわかった、という経験を話して下さいました。〈楽しかった〉はまだ出て来ないが、素直に話せるようになって軽くなった、と。

Knさんからは、小学校時代の歌の歌詞(みんな仲良し・・・友だちつくろう・・・)に引っかかったこと、生きづらさがあったこと、救ってくれたのは趣味だった、と話されました。

Omさんは、最近の家での息子さんのエピソードを紹介して下さいました。参加者から、家族のことを気かけ、家族のために何かする・・・というも〈自立〉、という感想でした。

日頃どちらかというと寡黙?な方々の参加ということもあって、人数が少なかったので話すことができたのか、自分自身を少し見つめることができた、しっとりとした話し合いになりました。



## 「居場所」8月14日(日)(62回目でした。)

最終的に13名の参加でした。この日は、仕事や体調などそれぞれの事情で当事者・経験者本人の参加が少なかったのですが、偶然にも、県内で支援にあたっておられる方々が参加して下さいました。

“蜘蛛の糸”のSh様とTy様、“横手しゃべりば”のTe様とI様、“こころのばんそうこう”のOh様、そして複数のご家族の参加もありました。

いつもの「居場所」の雰囲気とはちょっと(だいぶ)違っていました。進行役のStさんと当事者・経験者のIwさんの積極的な発言と投げかけで様々な話題が繰り広げられました。

後半、予測していなかった支援者による鼎談のような会になり、刺激を受けました。参加の本人さんたちは、ちょっとびっくりしたかと想像しますが、でも、人生の大先輩たちが、支援者という立場を離れて語って下さったことは、多分これからの大きな宝物になるように思います。

これまでもKHJ本部を初め県内外の方々のお力を借りて来ていますが、身近な所に見守って下さっている人や団体が豊かにあることを改めて認識しました。

“秋田ばっけの会”に参加されているご家族や当事者・経験者の方々が、それぞれ県内の団体などを訪問して、交流をして来ています。そのご縁で、他のメンバーも訪問したり、今回のように「集い」「居場所」に参加していただいたりしています。とても、ゆるいつながりではありますが、これからも力になっていただけたらと願っています。



あきた自殺対策センター蜘蛛の糸

「いのちの総合相談会」などを行っています。

☎018-853-9759

NPOこころのばんそうこう 発達障害、不登校・ひきこもり、パワハラ・モラハラ他生きづらさを感じている人の相談を行っています。

☎090-5230-9233

カウンセリングルーム横手しゃべりば

個人カウンセリング、「横手しゃべりば」などを開催しています。

☎090-1551-0023

※各々の団体のホームページやブログから引用させていただきました。



## 秋田ばっけの会 2022年9月の予定

### ●第74回「集い」

日時；2022年9月10日（土）13：30～15：30

会場；秋田市役所内センタース3階 洋室2・3

### ●本人の会「居場所」

日時；2022年9月17日（土）13：30～15：30

会場；秋田市役所内センタース3階 洋室2・3

●運営ミーティングは随時行います。参加ご希望の方はご連絡下さい。



## 《 報 告 ・ 情 報 ・ 紹 介 》

★ 7月末にKHJ本部から①「働き方づくり」②「地域づくり」のご案内がありました。“秋田ばっけの会”でも〔職業・働き方〕が話題になっていますので、遅くなりましたがご紹介します。視点をちょっと転じれば、選択肢も増えるかもしれませんね。

- ①『たびだち95号』でも掲載されていましたし、2019年10月に秋田市のシンポジウムでご講演された近藤正隆氏（NPO法人ウヤギー沖縄理事長・KHJ監事）が『農薬を使わない沖縄コーヒー 78歳と74歳の挑戦』という企画を発信されています。全国の生きづらさを抱えている人にコーヒー農家を手伝ってもらおう、という事業です。詳細は、<https://camp-fire.jp/projects/view/598485>
- ②8月3日に放送されたNHK「クローズアップ現代」『移住新時代 過疎地域にチャンスあり!』のご案内でした。「NHK地域づくりアーカイブス」で無料で見ることができます。

地域づくりナビvol162「移住者が地域の可能性を広げる」



### 『ひきこもりの真実 — 就労より自立より大切なこと』

林 恭子 著（ちくま新書 2021年12月発行）

著者の林恭子氏は、不登校・ひきこもりの経験者で、「ひきこもりUX会議」の代表理事として、当事者活動を行っています。「ひきこもり・生きづらさについての実態調査」（『ひきこもり白書2021』）と自身の体験をもとに、ひきこもりの現実とどのような支援を望むかなどについて伝えています。

### 『「ひきこもり」から考える — 〈聴く〉から始める支援論』

石川良子 著（ちくま新書 2021年11月発行）

著者の石川良子氏は、松山大学人文学部の教授です。支援者としての活動ではなく「研究者」として自助グループや支援団体などに当事者として参加している人たちから当事者の声を〈聴く〉ことを中核に活動しておられるそうです。受容のあり方を〈受け入れる〉から〈受け止める〉に変えるという提案など、家族間でも心したい大事な事がたくさんあり充実した内容です。

※両書とも〈当事者の声〉〈当事者発信〉〈当事者主体〉などの大切さを伝えているように思います。

※新型コロナウイルスの状況によっては、「集い」「居場所」を中止せざるを得ないことがあります。

参加を考慮される方は、事前に事務局にお問い合わせ下さい。

※通院などで事務局不在の場合もありますので、ご連絡やお問い合わせは、できればE-mailか携帯電話のSMSをお願いします。

※E-mailアドレスを登録または携帯電話の番号をお知らせいただければ、本部からの急なご案内や事務局からの緊急の連絡などがしやすくなります。ご希望があれば「便り」をメールでお届けすることも可能です。ご協力よろしくお願ひします。

ご連絡・お問い合わせ・ご希望は下記アドレスへどうぞ。

KHJ秋田ばっけの会事務局 ; 090-9539-2365  
khjakitabakke@gmail.com

### ♥感謝

- ・秋田市のIm様から会費を、It様からご寄付を、Sm様から書き損じハガキをたくさんいただきました。（ハガキは切手に交換して使わせていただきます。）
- ・電話やメールなどでのお問い合わせやご相談もありました。

★ 年会費とカンパへのご協力をお願いします。

\* 切手やコピー用紙、封筒などの物品も大歓迎です。

\* 送金は、北都銀行 檜山支店（名義）KHJ秋田ばっけの会 事務局長 妹尾弘  
（店番）015 （口座番号）8108428